

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・近くにマンションが完成したため、乗客数が増える見込みである。
		通信会社（経営者）	・前向きな投資案件が増えているため、その場しのぎでない本格的な回復の兆しを肌で感じており、先行きには期待が持たれる。
		その他レジャー施設 [球場]（企画担当）	・プロ野球シーズンが開幕するとともに、入学式、国際会議などのイベントが予定されており、多数の来場者が見込まれる。
		その他住宅[展示場] （従業員）	・住宅展示場のゴールデンウィークのフェアには、年間来場者の2割近い客が来場するが、住宅ローン減税が1年延長されたため、今年はかなりの来場者数が見込める。
やや良くなる		一般小売店[酒]（経営者）	・乗客数はほぼ横ばいであるが、店のオープン当初から行っている試飲が客へ浸透し、販売本数、売上ともにアップしているため、今後もこの傾向が続くと期待している。
		一般小売店[衣服] （経営者）	・駅前開発によって交通の便が良くなり、街がきれいになったため、色々な人が集まって、にぎやかになった。今後も良くなっていくと期待している。
		百貨店（売場主任）	・まだ本格的な春物商戦がスタートしていないが、手応えは感じている。インポートブランドは円安の影響で国内価格の値上げが相次いでおり、販売への影響が懸念されるが、宝飾、時計などは今後上昇局面に入ることが期待される。
		百貨店（売場主任）	・買い控えの続くフリー客が、夏物買いに入ると予感されることや、新しいトレンドアイテムやブランドが出てきており、昨年とはかなり違った色、素材、購買傾向が出てくると予想されることから、先行きに期待できる。
		百貨店（売場主任）	・今年はオリンピック開催およびサッカーワールドカップの予選などで、ファッションもスポーツ感覚がクローズアップされているので、全体的に上向き傾向になることが期待される。
		百貨店（営業担当）	・堅実に売上を伸ばしている高級ブランド品、時計、宝飾品、衣料品はさらに売上を伸ばす勢いが感じられる。
		家電量販店（店長）	・夏に向かって、アテネオリンピックの話題が多くなり、それにつれてデジタル家電の伸びが加速することが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・5月に国際ロータリークラブ世界大会が大阪で開催されるため、宿泊を中心として大阪は賑わうことが期待される。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宴会の先行予約は弱い、婚礼が前年を大きく上回っている。また、宿泊では定例の大口団体が今年度はなくなり危惧をしていたが、それを上回る予約が受注できそう、先行きの見込みは明るい。
		都市型ホテル（副総支配人）	・宿泊の予約率は前年より上回っており、単価についてもやや上昇傾向にあるほか、当日予約やウォークインについてもやや勢いがある。宴会もプライダグ、一般宴会とも予約は増えていることから、先行きに期待が持たれる。
		旅行代理店（広報担当）	・今年はゴールデンウィークの日並びが良いので、海外や国内に満遍なく申込が入れば、今の状況よりかなり良くなることが期待される。
		旅行代理店（営業担当）	・鳥インフルエンザが沈静化することが絶対条件だが、昨年と比較すれば間違いなく販売量の動きは良くなっている、夏には旅行業界も回復に向けた流れに乗ることが期待される。
		タクシー運転手	・客との会話のなかで、元気な企業が増えてきているように感じられることから、先行きに期待できる。
		ゴルフ場（経営者）	・例年に比べて予約状況はやや悪いが、メンバーやコンペの幹事から受ける感触は非常に良く、今後気温の上昇とともに上向きになると期待している。
		美容室（店長）	・5月はホワイトニング化粧品が売れる時期にあたるが、気温が上がった年は売行きが良い。昨年は気温が上がらなかったため、今年は昨年以上の売行きが期待できる。
		美容室（店員）	・新技術の開発がうまくいっており、新メニューにつながっていることから、先行きに期待できる。

	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・ 昨年からの新築マンション供給抑制と年度末の在庫一掃販売によって、市場の需給バランスが供給過多から通常に戻る可能性が高い。その結果、無理な価格競争は和らぐことが期待される。
変わらない	百貨店 (売場主任)	・ ポリユーム商品が苦戦するなか、気温だけが売上を左右する大きな要因となっていることから、今後大きな回復は見込めない。
	百貨店 (企画担当)	・ 婦人ファッションが堅調に推移しているものの、ここ数か月は再び来客数の減少傾向がみられることから、今後も一進一退の状況が続く。
	百貨店 (営業担当)	・ 高額所得者については、株価もまだ安定せず先行きが不透明な状態なので、高額品などへの需要はあまり見込めない。
	百貨店 (売場担当)	・ ヒットブランド、アイテムもなく、先行きが非常に不透明である。
	スーパー (店長)	・ 売上は伸びているが、今月に競合他社の新店舗が近くになるので、先行きは不透明である。
	スーパー (経理担当)	・ 今後、企業としても安全性の高い商品の選択が必須であり、コストの増大が懸念される。
	コンビニ (経営者)	・ 機能性飲料のような高付加価値商品が好調で、客単価の引き上げ効果がある反面、それ以外は低単価商品へシフトしていることから、今後も客単価は低いレベルで推移しそうである。
	家電量販店 (企画担当)	・ 薄型テレビ、DVD、デジタルカメラ、パソコンをはじめ、独り立ち需要などの春先需要や、オリンピックなどのイベントによる盛り上がりにより期待が持たれる。
	乗用車販売店 (営業担当)	・ 中古車の販売は好調であるが、客の希望が多数が乗れる車種に偏っていることから、今後も新車の売行きに関してはあまり変わらない。
	乗用車販売店 (営業担当)	・ 相変わらず低年式車の買い替えが多く、中古車市場は品不足が続いている。新車購入についても、いまの車両が使用限度になってやむを得ず乗り替えをするケースが多いことから、今後も厳しい状況が続く。
	観光型旅館 (経営者)	・ BSE や鳥インフルエンザでかなりの打撃を受けているが、こだわりのある特産品などであれば、少々割高でも購入がみられることから、今の水準は維持できる。
	通信会社 (経営者)	・ 今後数か月で次世代携帯電話のラインナップが出揃うが、大きな需要掘り起こしは期待できず、買い換え意欲を刺激するには至らない。
	通信会社 (社員)	・ 今後も新商品を投入していくので、需要を喚起できるものと期待される。
	観光名所 (経理担当)	・ 当社の商業施設と同種の施設が増加しており、今後の競争の激化が懸念される。
住宅販売会社 (経営者)	・ 一時的な来客数の増加で景気の上向き傾向は感じているが、実質的な成約数の上昇までもう少し時間がかかることから、厳しい状況が続く。	
やや悪くなる	百貨店 (営業担当)	・ 4月以降の総額表示に関し、今まで百貨店では少なかった1円単位の表示に違和感を感じて、売上が減少することが懸念される。
	乗用車販売店 (営業担当)	・ 4月からの消費税内税表示により、値段が上がったように錯覚されるため、高額商品については購入に二の足を踏まれることが懸念される。
	通信会社 (経営者)	・ 新規案件の欠乏とともに、社内スタッフや開発協力業者内でも、モチベーションの低下、離脱などの現象がでており、会社の存続自体が危うい状態になっていることから、先行きの見通しは暗い。
	通信会社 (経営者)	・ 競争相手の商品がよく売れていることから、先行きの見通しは暗い。
悪くなる	一般小売店 [精肉] (管理担当)	・ 昨年はSARSの影響を受け、ゴールデンウィークが全くだめだったので、今年は少し期待しているものの、新たな問題が発生することを懸念している。
	一般小売店 [精肉] (管理担当)	・ BSE による米国牛の輸入禁止が長期化しそうであることから、業界への影響がさらに大きくなることが懸念される。
企業動向関連	良くなる	
	やや良くなる	食料品製造業 (経営者)
	木材木製品製造業 (経営者)	・ 今後、受注量や販売量が増加し、価格も改善される予定であることから、先行きに期待が持てる。

		化学工業（経営者）	・得意先ごとに差があり安定していないが、全体としては売上増加傾向にある。雰囲気も明るくなってきたことから、先行きに期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の稼働状況も大変良く、これ以上の増産はできないと聞いている。当社も受注残は多くないものの、営業活動に対する顧客の反応は良いことから、先行きに期待できる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ものづくり企業の受注生産量が、急速に回復していることから、先行きに期待が持たれる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・自動車、電気、鉄鋼、造船、プラントメーカーなどで、仕事が増えている感があることから、先行きの見通しは明るい。
		建設業（経営者）	・マーケットが拡大傾向にあるので、今後も営業方針を誤まらなければ、上向き傾向が続く。
		不動産業（営業担当）	・マンションの収益物件が売れてきており、今後もこの傾向は続くと思われる。従って、ワンルームマンションなどに適する土地については、今後値上がりすることが予想される。
変わらない		繊維工業（経営者）	・夏物商品の発注については、現状の状況から判断すると多くは期待できない。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・一般消費者向けの瓶の受注が落ち込んでいることから、今後も厳しい状況が続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・見積の依頼はあるが、内容をみると当社が得意とする物件が少ないことから、先行きに大きな期待はできない。
		建設業（社員）	・不動産取引は活発化してきたものの、少ない市場での競争が続いていることから、建設業界は厳しい状況が続くそうである。
		不動産業（経営者）	・収益マンション、収益ビルの取得希望が多いが、立地、利回りなど条件が厳しいことから、今後も厳しい状況が続く。
		その他サービス業〔イベント企画〕（経営者）	・ゴールデンウィークに向けての企画に目新しさが無いことから、先行きには期待できない。
やや悪くなる			
悪くなる		繊維工業（団体職員）	・受注量のさらなる減少が懸念される。既に減少への対策が限界であることから、先行きの見通しは非常に厳しい。
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	民間職業紹介機関（支社長）	・関西の家電メーカーの好調が続いていることに加え、中堅や中小企業も元気になってきている。採用の意欲が高まっている状況が今後も続く。
		学校〔大学〕（就職担当）	・企業が大学生に内定を出す時期が早まりそうである。優秀な人材を確保するためのセミナーの開催や採用活動を前倒しする企業が多くなってきている。
変わらない		求人情報誌製作会社（編集者）	・新卒採用の増加傾向や、派遣、紹介、請負などのアウトソーシングを活用した雇用は、規制緩和も追い風となって伸長傾向が続くことが期待される。
		職業安定所（職員）	・求人数が増加傾向にあり、有効求人倍率が改善されてはいるものの、雇用形態が不安定な求人が多く、賃金の低下をはじめとした雇用条件の悪化が続いていることから、今後も厳しい状況が続く。
やや悪くなる		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・企業は相変わらずリストラをしており、その穴埋めとしてパートや派遣社員に切り替えるところが増えてきたことから、先行きが懸念される。
		民間職業紹介機関（職員）	・先日、聴き取り調査を求人業者に行ったが、かなりの業者が悲観的であったことから、今後も厳しい状況が続く。
悪くなる		-	-